

働くよろこびと 社会参加の輪を広げよう

32号

静岡県シ連だより



農業支援事業開拓に向け「花卉栽培事業」視察〔於：茨城県（社）石岡地方広域シルバー人材センター〕

第32号 も く じ

会長挨拶	2
企画提案事業で新規事業を開拓!!	2
公益社団法人移行に向けて順調に進行	2
静岡県シルバー人材センター連合会のあゆみ	3
平成23年度シニアワークプログラム実施状況	7
平成23年度シニア就業支援プログラム事業実施状況	7
安全・適正就業委員会から	8

発 行 者

(社)静岡県シルバー人材
センター連合会

〒420-0851
静岡市葵区黒金町 5 番地の 1
(静岡県勤労者総合会館 4 階)
TEL (054) 254-7240
FAX (054) 205-4540
E-mail shizuren@abelia.ocn.ne.jp

発行日 平成24年3月1日
発行人／大 村 脩 平
編集人／村 松 靖 則

会員の皆様へ

静岡県シルバー人材センター連合会

会長 大村 脩 平

(伊東市SC)

会員の皆様には、ますますご健勝で御活躍されていることとお慶び申し上げます。

さて、静岡県内三十四のシルバー人材センターのうち二十四のセンターと連合会が、この度めでたく、四月一日に揃って公益社団法人へ移行することになりました。

公益社団法人になりますと様々な公益認定基準を順守することが求められますが、シルバー人材センターの理念や、実施事業等は従前と変わることなく、これまでどおり会員の皆様方の様々な就業活動等を通して、魅力・活力ある地域づくりに貢献して参りたいと思っております。

シルバー人材センターを取り巻く環境は、長引く景気の低迷により、受注金額が毎年度減少するなど極めて厳しい現実に直面しておりますが、こうした時であればこそ、県下二万三千人余のシルバー会員皆様と一致結束を固め、これまで培ってきた技術と経験を活かし、何時までも信頼されるシルバーであり続けたいと思っております。

会員の皆様には、今後とも一層の御活躍されることを願っております。

企画提案事業で、新規事業を開拓!!

子育て支援事業

県内全センターの取り組みを目指してスタートした連合会の企画提案事業も、今年が最終年です。今年度もNPOに委託して八センターで子育て研修会「今どきの子育て」を開催、コミュニケーションリーダー研修も三会場で行いました。どの会場でも受講者は「これからの仕事に生かしていう」ととても熱心でした。これらの研修会の受講者は合計二八〇



人、三年間の受講者数は六三七人に上ります。現在十五センターが実施していますが、一つでも増えることを期待しています。

自然満喫・シルバー農業

今年度スタートした企画提案事業「自然満喫・シルバー農業」は、農家の高齢化、耕作放棄など危機にある農業に対して、シルバーが少しでも何かできないか方策を探る事業です。

今年度は、五モデル

センターを指定し、新たに会員が農業に関わるための技術の習得や、農作物の栽培・販売・特産化、地産地消、農業を通じた子供たちの育成などに取り組みしました。



公益社団法人移行に向けて順調に進行

現在県シ連を含め二十五の団体が答申を受け、平成二十四年四月一日に登記を予定しています。これまで二十三年度早々から県との定款協議を行い、八月末には多くのセンターが申請のボタンを押しました。その後、公益認定審議会事務局との細かなやり取りを経て、ようやく三月十九日の認定を待つのみとなっています。大変ご苦勞様でした。

公益社団法人は、原則非課税であり、社会的に高い信用を得ることができる法人です。今回の移行を機に改めて公益性の意識をより高くもち、役員・職員一丸となって事業を運営していく必要があります。

連合会のあゆみ

静岡県シルバー人材センター

平成24年4月、社団法人静岡県シルバー人材センター連合会は公益社団法人へ移行し新たなステップへ踏み出すこととなります。
この機に連合会の歴史を振り返ってみましょう。

平成6年 シルバーわくわく フェスティバル

平成6年10月22日、シルバーわくわくフェスティバルが県との共同開催により静岡市の青葉イベント広場において開催された。写真は多くの来賓の参加を得てテープカットが行なわれた一コマ



平成4年 シルバー就業フェスティバル

平成4年11月4日、シルバー就業フェスティバルが静岡市の青葉イベント広場において県下500名の会員参加のもと盛大に開催され、シルバー人材センターの活動等がPRされた。

平成11年 第2回 経歴交流大会

平成11年10月7日、第2回経歴交流大会が静岡市民文化会館において県内70のセンターから800名の会員参加により開催された。第1回開催が前年富士市で産声をあげ、その後毎年開催が定着した。



「元気音頭」踊り

平成12年 第8回 通常総会

平成12年6月9日、第8回通常総会が静岡市の県勤労者総合会館において開催された、本総会は全国で初めて県内全市町村にシルバー人材センターが設立されたという記念の総会であった。



平成20年 福祉・家事援助事業推進
平成20年11月11日、福祉・家事援助事業推進基本計画のもと、NPO法人活き生きネットワークの杉本理事長を講師に研修会を開催、男性会員も交えた熱心な受講光景

平成22年6月17日、東海シルバー人材センター連絡協議会総会・経歴交流大会が熱海市後楽園ホテルにおいて250名の参加により開催された。

平成22年 東海シルバー人材センター 連絡協議会・経歴交流大会



連合のあゆみ		
年代	連合の主なできごと	センターの主なできごと
昭和54年 昭和63年	静岡県シルバー人材センター連絡協議会設置 昭和57年8月20日、県内法人4団体に甲府市シルバー人材センターも加わって各法人シルバー人材センター間の連絡協議をめぐり設立され、事務局を富士市シルバー人材センター内に置く 静岡県中高年齢者能力活用事業協会設置 昭和58年、県内の任意団体間の連絡協議を図るため設置 静岡県シルバー人材センター協会に名称変更 昭和63年4月25日、県内法人12団体で構成し名称を変更	県内初、新居町シルバー人材センター誕生 昭和54年7月5日、県内初の任意団体として設立 法人シルバー第一号富士市シルバー人材センター誕生 昭和55年10月13日、県内初の社団法人として設立
平成元年 平成5年	任意団体「静岡県シルバー人材センター連合会」設立 平成元年5月2日、県庁西館大会議室で設立総会が開催され、組織を一体化しシルバー人材センター事業の一層の発展をめざした県シ連が誕生する 国庫補助を受ける 平成2年4月、連合会設立により全国の都道府県協議会8団体に入り全シ協を通じて助成金を受けることとなる シルバー・フォーラム開催 平成3年10月30日、静岡市の県勤労者総合会館において開催、シルバーの活動PR、会員による就業体験発表等 県へ初の陳情実施 平成4年7月14日、シルバー人材センター事業の一層の発展を図るため県知事あて陳情をおこなう シルバー就業フェスティバル開催 平成4年11月4日、静岡市青葉イベント広場で県下500名の会員参加のもと、就業実演、展示即売等シルバーをPR シルバー健康・安全就業フォーラム開催 平成5年10月29日、静岡市の県勤労者総合会館において安全就業意識高揚をめざし185名の参加により開催	社団法人中遠広域シルバー人材センター設立 平成3年7月15日、袋井市と森町、浅羽町の1市2町が統合 三島市で県内初の福祉・家事援助サービス事業の指定を受ける 平成4年、三島市シルバー人材センターが県内初の指定を受ける
平成6年 平成10年	シルバーわくわくフェスティバル県との共同開催 平成6年10月22日、静岡市青葉イベント広場で会員600名および県民3千名の参加を得て開催されシルバーの活動活躍をPR 厚生年金基金説明会開催 平成6年6月9日、全シ協で実施する基金についての説明会を開催、次年度からスタート シルバー人材センター制度拡充に向け全国一斉署名活動実施 平成7年10月〜11月、本県は63、419名の署名を集める シルバーフェア静岡駅コンコースにおいて開催 平成7年10月21日、会員の作品展示、即売、写真やパネル等を用いて活動紹介等PR 法人認可を受け「社団法人静岡県シルバー人材センター連合会」発足 平成8年5月のシルバー人材センター制度改正を受け、10月1日知事の認可・指定の手続きを経て各シルバー人材センターが参加する「連合」として事業を開始	三ヶ日、本川根、芝川町にシルバー人材センター誕生 平成7年、新たに3シルバー人材センターが誕生し、シルバー人材センターのない町村は残り8町村となる 各シルバー人材センターでは新制度実現とシルバー事業の発展・拡充について市町村長に対し要望実施 平成7年全国署名活動に連動して各センターが実施 南伊豆、東伊豆、豊田町にシルバー人材センター誕生 平成8年、新たに3シルバー人材センターが誕生し、未設置町村は残り5町村 磐田市、藤枝市両センター全国表彰を受賞 平成9年10月30日、全国シルバー人材センター事業協会設立15周年記念大会において優れた業績をあげ全国で45センターが表彰された静岡県は両センターが受賞
		東海シルバー人材センター等連絡協議会総会&経験交流大会が初めて静岡県で開催 平成2年6月19日伊豆長岡町富士見ハイツにおいて180名の参加により開催
		東海シルバー人材センター事業協会設立15周年記念大会開催 平成9年10月30日、東京にて開催 全国連合制度の発足と共に全国で100万人会員をめざす 平成9年3月17日、通常総会で全シ協会長宣言

平成11年 平成15年 無料職業紹介事業開始 平成8年10月11日、届け出提出により事業開始 シニアワークプログラム地域事業開始 平成10年4月、労働局の委託を受け高齢者の雇用促進をめざし技能講習会等を実施する新事業スタート 第1回経験交流大会開催 平成10年9月17日、富士市市民文化会館ロゼシアターで県内会員620名の参加により開催、静岡県立大学星学長の基調講演、センターの活動発表、舞踊、民謡披露および展示会場における展示即売等 PR用「のぼり旗」を作成しセンターに配布 シルバーPRのため各種行事の際使用する同一デザインの「のぼり旗」を作成しセンターへ配布 新入会員啓発ビデオ作成しセンターに配布 平成11年、江戸家子猫さんの紹介によるビデオ作成 国の緊急雇用対策、就業開拓員を県内全センターへ配置 平成11年8月、国の緊急雇用対策の一環として116名の開拓員が県内全センターに配置され就業機会の確保に活躍 ヒヤリ・ハット体験事例集作成しセンターに配布 平成13年6月、安全就業のために会員の体験をまとめ事例集を作成 会員増強用、就業開拓用のリーフレット作成しセンターに配布 平成14年、「シルバー人材センターの会員になるには」、「シルバー人材センターの仕事の内容」、「シルバー人材センターのしくみ」3種類のリーフレット作成 安全適正就業推進研修会開催 平成14年7月26日、静岡市ブケ東海で県下72センター260名の参加により基調講演、事例発表、取組み発表等研修を実施 刈払機取扱安全教育講習会開催 平成14年、県内4センターを会場に200名の会員の参加により開催し受講者には「刈払機作業安全衛生教育修了証」が交付される 全シ協20周年記念表彰受賞 平成14年10月17日、全シ協20周年記念大会にて優良都道府県連合として静岡県連合が受賞 お客様意識調査（顧客満足度）実施 平成15年、各センターと共に調査を実施し今後の事業取り組みのうえで会員の技能向上、資質向上に活用		平成16年 平成20年 センター統合の動き始まる、統合問題研究委員会の設置 平成16年4月スタート 県シ連会長知事表彰受賞 平成16年10月3日、渥美金一郎会長は社会福祉活動の功績により県知事表彰を受賞 子育て支援事業参入の推進 平成17年2月〜3月、各センターに実施した「子育て支援事業に関するアンケート調査」により7割のセンターが実施に前向きな結果を受け、手引きを作成しセンターに配布するとともに県立短大の山田教授を講師に講習会を開催	
水窪、河津町にシルバー人材センター誕生 平成9年、新たに2シルバー人材センターが誕生し、未設置町村は残り3町村、本県は全国最少未設置県となる 賀茂村にシルバー人材センター誕生 平成10年12月18日、新たに誕生し、未設置町村は残り2町村となる 全国初、県内一斉就業開拓実施 平成10年10月〜12月、民間事業所2千社を目標に訪問就業開拓を実施、全国初の試み		伊東市シルバー人材センター「ゆめ工房」がオープン 平成11年2月17日、伊東市の商店街に全国に先駆け空き店舗活用 西伊豆町にシルバー人材センター誕生 平成11年10月7日、新たに誕生し、未設置は残り1村となる 藤枝市シルバー人材センター「藤の華」オープン 平成12年2月2日、藤枝市商店街に和服から洋服へリフォームショップを開店 龍山村にシルバー人材センター誕生 平成12年4月14日、新たに誕生し、県内全市町村にセンターが設立された、これは全国初となる 介護保険開始、介護保険事業者として6センターが活躍 平成11年8月に居宅介護事業所の指定を県から受ける等早期に取り組みを開始した藤枝市センターを初めとして、平成12年4月に介護保険制度が始まると共に富士市、島田市、金谷町、菊川町、浜北市の6センターが介護保険事業者の指定を受け積極的な取り組みを実施 磐田市シルバー人材センター、リサイクルショップ「マガモ」スタート 平成12年8月、ベビー用品や学校用品を主に取り扱うリサイクルショップを開設 全シ協20周年記念表彰を県内4センターが受賞 平成14年10月17日、全シ協20周年記念大会にて裾野市シルバー人材センターが厚生労働大臣感謝状、優良センターに焼津、三島、浜北市の3センターが受賞	
センター統合始まる 平成16年静岡市と清水市のセンターが社団法人静岡市シルバー人材センターに統合、御前崎町と浜岡町のセンターが新たに御前崎市シルバー人材センター設立、土肥町、天城湯ヶ島町、中伊豆町、修善寺町各センターが社団法人伊豆市シルバー人材センターに統合 富士市シルバー人材センターに「ひよこクラブ」誕生 平成16年8月、子育て支援事業として1歳児から3歳児の一時預かり施設をセンター2階に開設		高齢法の一部改正によりシルバーの就業範囲拡大される 平成12年10月1日、「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」が改正され就業範囲が軽易な業務へと拡大された 全国シルバー人材センター事業協会設立20周年記念大会開催 平成14年10月17日、東京・中野サンプラザにおいて全国1、600センター、2、500名の参加にて開催 全シ協PR用ビデオ作成 平成16年、TV笑点で馴染みの林家木久蔵師匠と山田君が掛け合いでシルバー紹介 東海シルバー人材センター協議会総会・研修会が熱海市で開催 平成18年6月15日〜16日、熱海市水葉亭において250名の参加により開催	



シルバー会員 庭木剪定の就業光景



平成11年2月17日 伊東市シルバー人材センター「ゆめ工房」オープン

事業実績の推移

平成年	加入団体数 (内法人)	会 員 数	契約金額(千円)
1	45 (15)	8,964	3,268,910
2	52 (16)	9,610	3,791,157
3	53 (18)	10,108	4,313,733
4	57 (19)	10,823	4,810,582
5	58 (19)	11,848	5,226,035
6	61 (21)	13,035	5,728,153
7	64 (22)	14,545	6,468,915
8	64 (28)	15,815	7,378,045
9	69 (29)	17,193	8,097,512
10	70 (29)	18,422	8,368,040
11	71 (29)	19,662	9,316,823
12	72 (29)	20,860	10,271,553
13	72 (30)	21,338	10,667,722
14	72 (30)	21,819	11,044,377
15	72 (31)	22,222	11,460,678
16	67 (30)	22,445	11,875,488
17	59 (29)	22,291	12,059,615
18	42 (27)	22,384	11,805,208
19	41 (27)	21,591	11,599,115
20	39 (27)	21,817	11,130,060
21	36 (26)	23,074	10,473,304
22	34 (28)	23,355	10,350,296
23	34 (29)	未	未

役員の変遷

平成年度	元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
平成年度	氏名	川口清俊	氏名	山田博	氏名	神長一郎	氏名	村松幸一	氏名	渥美金一郎	氏名	氏名
	センター名	静岡市	センター名	博袋井市	氏名	湖西市	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名
	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名
	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名
	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名
平成年度	氏名	渥美金一郎	氏名	矢部良雄	氏名	大村修平	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名
	センター名	静岡市	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名
	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名
	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名
	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名
平成年度	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名
	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名
	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名
	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名
	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名

平成16年
平成20年

安全・適正就業推進基本計画策定
平成17年2月 会員の事故防止をめざし策定

無料職業紹介事業開始
平成18年度に県内9法人センターが無料職業紹介事業の認定を受け無料職業紹介を開始

静岡県シルバー人材センター事業活性化計画策定
平成19年度、国の再チャレンジ支援総合プランに基づき新事業の開拓や安全就業の徹底等を柱とした活性化計画を策定し平成22年度には会員数2万9千人をめざすこととした

福祉・家事援助事業の推進
平成20年度、福祉・家事援助事業推進基本計画を策定し福祉・家事援助委員会を新設して事業推進強化を図る

シルバー派遣事業の推進
平成20年3月23日、平成16年の法律改正を受け派遣の形で派遣先の指揮命令を受け働くことが可能となり県シ連が届出事業所となる

県の事業仕分けにより結論「補助金不要」
平成20年11月 事業仕分けの判定で補助金が不要となり、県から市町への補助金は縮減

平成21年
平成23年

シニア就業支援プログラム事業開始
平成21年5月 労働局の委託を受け55歳以上の離職者等の社会参加支援を目的にセミナー、就業体験、相談支援等を実施する新事業がスタート

国の事業仕分けにより判定「3分の1程度の予算縮減」
平成21年度国の事業仕分けで厳しい評価

新公益社団法人の移行へ向けた取り組み進む
特例民法法人シルバーが移行に

大井川町シルバー人材センター全国経験交流大会へ出場
平成17年10月13日、東京中野サンプラザで開催された全国大会において、子育て・介護支援に就業する福祉班会員によりレクダンスを舞台で披露

島田市シルバー人材センター「ふれあいサロンなこみ」開設
平成17年12月、空家の古民家を無料で借り受け、デイケアサービス施設として開設

ねりんピック静岡2006へシルバーとして協力
平成18年10月28日〜30日、多くの会員が競技に出場すると共に静岡市ツインメッセ会場では静岡市、焼津市、牧之原市、大井川町、川根本町の各センターにより竹細工等の実演や展示即売等を実施

島田市シルバー人材センター国土交通省静岡河川事務所から感謝状授与
平成19年、河川敷のゴミ拾い、草刈り、清掃等従来からの社会活動が評価され感謝状が授与される

シルバー派遣事業開始
県シ連の静岡事務所（静岡市シルバー人材センター内）として派遣業務をスタート

伊豆の国市シルバー人材センター「経ヶ島茶屋」運営開始
平成21年市から管理委託を受け運営に携わり地場産品や手工芸品等を販売、観光客へ史跡の説明をボランティアで実施



経験交流会 展示品



平成11年10月7日 西伊豆町シルバー人材センター設立総会

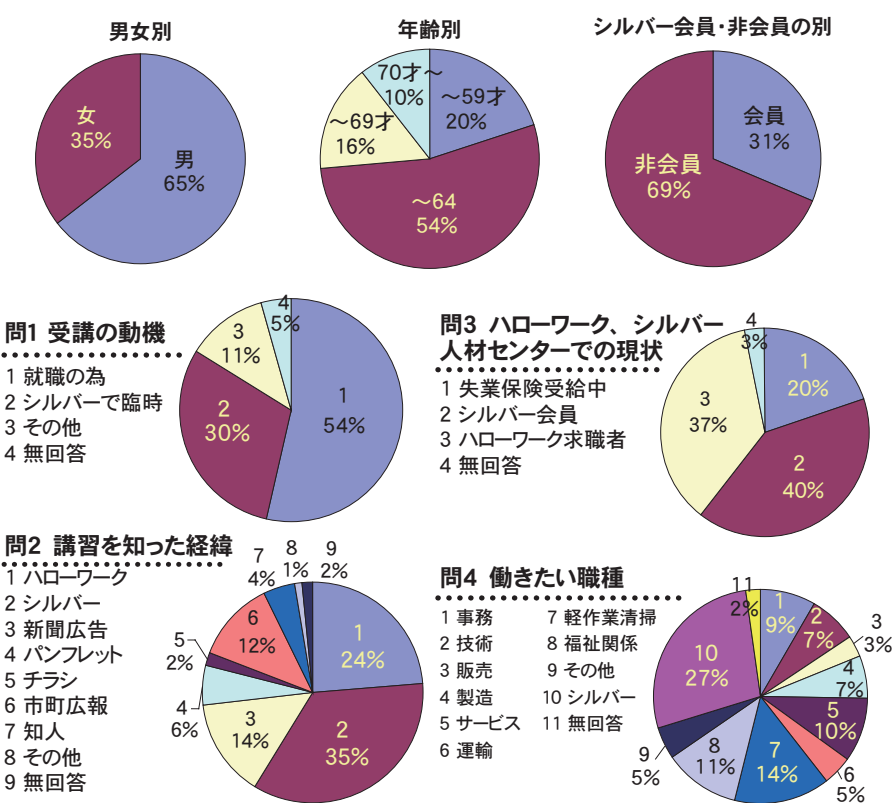
全シ協主催福祉・家事援助担当者研修会
修会で静岡県シ連事務局局長が講演
平成21年11月26日、全シ協主催研修会で連合会事務局局長が静岡県を取り組みについて講演する

東海シルバー人材センター協議会
総会・研修会が熱海市で開催
平成22年6月17日、熱海後楽園ホテルで250名の参加により開催

平成23年度 シニアワークプログラム講習会修了時アンケート結果

調査目的：SP講習会実施内容の検討及び
広報活動の検討に資するため
調査対象者：平成23年度に静岡県シルバー人
材センター連合会が厚生労働省
(静岡労働局)の委託を受けて実
施した講習会を修了した者全員

	講習会名称	申込者数	修了者数
重点	ヘルパー2級資格取得	228	149
	ガイドヘルパー資格取得	41	33
	営農支援	24	18
	警備業務	24	18
	造園緑化サービス	101	83
	ヘルパー2級フォローアップ	12	10
	小 計	430	311
通常	庭園サービス	99	71
	家事援助・子育て支援	50	40
	農業支援	19	18
	筆耕	27	22
	マンション管理業務	50	40
	フォークリフト	89	62
	パソコンワード技能検定	10	9
	小 計	344	262
	合 計	774	573



シニア就業支援プログラム事業（略称：SSP）

本事業は労働局から県シ連が受託し平成21年 5 月に開始、55歳以上の離職中又は退職予定者で社会参加（就職、パート・アルバイト就業、シルバーにおける就業、ボランティア活動、NPO活動等）を希望する方に事業へ登録していただき、就業支援講座、就業体験、相談支援等により、社会参加の実現に向け支援する事業です。

◆実績

	目標数	21年度実績	達成率	22年度実績	達成率	23年度実績	達成率
事業への登録者数	2,000名	1,283名	64.2%	1,759名	88.0%	1,922名	96.1%
雇用・就業者数	400名	529名	132.3%	746名	186.5%	558名	139.5%
ワークショップ又は支援講座参加者数	1,000名	957名	95.7%	1,345名	134.5%	1,204名	120.4%

(注) 23年度実績は24年 1 月末現在のものです。

◆実施事項

◆就業支援講座

	講 座 名	参加人員
平成21年度	輝けシニア！チャレンジセミナー	242名
平成22年度	再就職実現セミナー	84名
	経済生活設計セミナー	54名
	再就職セミナー・パートⅡ	59名
	シニアの多様な働き方！私が選ぶ働き方	88名
平成23年度	充実したセカンドステージを見つけましょう！	117名
	わたしのシニア・ライフプラン	117名
	シニアの再就職活動セミナー	125名
	NPO活動と就業	104名
	再就職活動セミナー・パートⅡ	119名
	菩薩の心と共に歩む私の人生と生きがい	111名

◆就業支援相談会

	第 1 回	第 2 回	合 計
平成21年度	52名	実施なし	52名
平成22年度	73名	108名	181名
平成23年度	73名	3 月実施	未定

◆ワークショップ(就業体験)

・シルバー就業体験、連携機関の実施する就業体験、ボランティア体験等

	シルバー体験	連携機関体験	ボランティア体験	合 計
平成21年度	22名	21名	20名	63名
平成22年度	74名	64名	97名	235名
平成23年度	48名	27名	82名	157名

◆その他こうした事業にも取り組みました

- ・ホームページにより事業の周知、情報紹介、ネット登録、求職者情報の掲載を実施
- ・「高齢者の雇用に関するアンケート調査」を実施し、集約した企業・団体の求人ニーズを登録者へ紹介
- ・各種情報を郵送により登録者へ定期的に提供
- ・中高年齢者向けに開発された「キャリア・インサイトMC」を活用し、適性診断を実施
- ・シニア就業支援協議会を設置し、関係機関と連携を図るため地域ネットワークを構築

本事業は平成23年度をもって終了の予定。

平成二十三年 度 全国統一スローガン

「安全は一声かけるゆとりから」

◆安全・適正就業推進研修会◆

七月六日、県内三十四センターの安全適正推進委員はじめ役職員、会員等一三八人が参加し、「推進研修会」を開催しました。基調講演は(株)谷沢製作所横浜営業所様による『ヘルメットの安全性』、また、吉田町SCと三島SC安全委員により、安全就業の取り組みや、災害現場でのボランティア活動の事例発表を行いました。

◆刈払い機取扱作業者安全教育◆

十一月十四日静岡会場、十一月二十五日磐田会場、十一月二十九日沼津会場にて各センターの協力の下、本年度の安全教育を実施しました。飛石事故防止や保護具等の安全対策と関係法令の講義、及び、点検・整備の実技等を学びました。九二名の受講者には林業・木材製造業労働災害防止協会から終了証が交付されました。



◆安全パトロール◆

安全・適正就業推進委員会（岩崎豊委員長）沼津市理事長）の安全巡回を、十一月二十一日小山市SC、十二月二日静岡市SC、十二月七日浜松市SCのそれぞれの就業先について実施しました。高所作業でのヘルメットは着用されていましたが、安全帯は未使用が多く、墜落・転落事故防止のために使用をお願いしました。



◆「適正就業」滋賀県視察研修会◆

二月二日、三日に公益社団法人滋賀県シルバー人材センター連合会と公益社団法人大津市シルバー人材センターを、安全・適正就業推進委員会とシルバー派遣委員会の委員及び事務局とで視察訪問しました。

平成二十四年度は労働局の調査指導が強化されるということから厚労省及び全シ協からは、今年度は自主的な改善時期として点検改善を行うよう通達がありました。滋賀県では平成十七年から適正化、シルバー派遣の導入に取り組んで実績を上

げてきた先進地であることから、今回の視察となりました。

視察から学んだことは、

『一、適正な請負の要件として機械設備の自己調達があります。実例として、清掃業務について、ポリッシャーを客先から賃貸借契約を結んだ上での請負就業があるとのこと。二、請負から派遣への切換えで、客先のコストアップを防ぐために就業時間をタイトにするなどの工夫が必要だとのこと。また手数料のアップはコンプライアンスの重視ということから客先の理解は得やすいとのこと。

三、派遣に切り換えたために出来る業務が広がり就業機会の拡大につながる。四、偽装請負の解消のために、その切換えの一つとして派遣があり、センターとしてはいつでも切換えが出来るよう手続きが必要となること。五、派遣受入期間の制限は大きな課題であり、全シ協の「シルバー派遣に関する要望」に期待しますが、当面は業務内容や業務場所の見直しで対応が必要となること。』等々です。



●編集後記●

県シ連にお世話になり初めて編集を担当。右往左往の状況のなか皆様のお力を拝借しながら、何とか発行にたどり着くことができました。皆様のご支援・ご協力にただ「感謝」「感謝」の一言です。ありがとうございました。(M・K)